

—初級から楽しく描こう—
第13期 楽しい水彩・パステル

【1月の活動報告】

新年あけましておめでとうございます。

新年初日はまだ正月気分が抜けないものの欠席者も少なく、穏やかに2026年の授業をスタートしました。

※今月のテーマは、人物を描く（モチーフは、自画像のための鏡や自身の写真など）です。

<1月5日の授業>

講義：水彩（人物自画像1）胸像を描く（写真と鏡の使用）

- ・肖像画は人物の印象を素早くとらえる。
- ・そっくりに描く必要はなく大づかみに形や動きを捉えること。
- ・自分をモデルにして描くことが肖像画の技術向上によい方法。
- ・顔をどう描くかどのような絵に仕上げたいか、描き手の明確な意図を持つことが重要。

実技の様子

- ・自画像を描く事が原則だが、モチーフとしてお孫さんの写真やモデル・女優の写真を基に描く方も多く、それぞれのペースで鉛筆デッサンから色付けまでを描いて行きました。
- ・授業の最後に、クラス委員長から2月11日～16日のギャラリー「はなみずき」での展示会と学習成果発表会について説明があり、みな発表作品に向けて気持ちを引き締めてした。



<1月19日の授業>

講義：水彩（人物自画像2）頭部造作の描き方

- ・顔の特徴を表現するには骨格の形を捉え、目鼻や口の位置関係を見て描く。
- ・見上げた顔、見下ろした顔など視点によって各部の位置関係は変化する。
- ・肌の色の塗り方や、中心線、構成線を使った基本的な頭部の描き方を学ぶ。

実技の様子

- ・前回の人物画を引き続き描き完成させたり、新たな人物モチーフで作品を描く方、学習成果発表会の出品作品を仕上げる方など、いよいよ成果発表を見据えた活動が見られました。
- ・最後に土方先生より、「成果発表会の出品作品は必ず自身で決定するように！」とのアドバイスあり。皆さんがご自分で選んだ作品の発表が楽しみです。

